

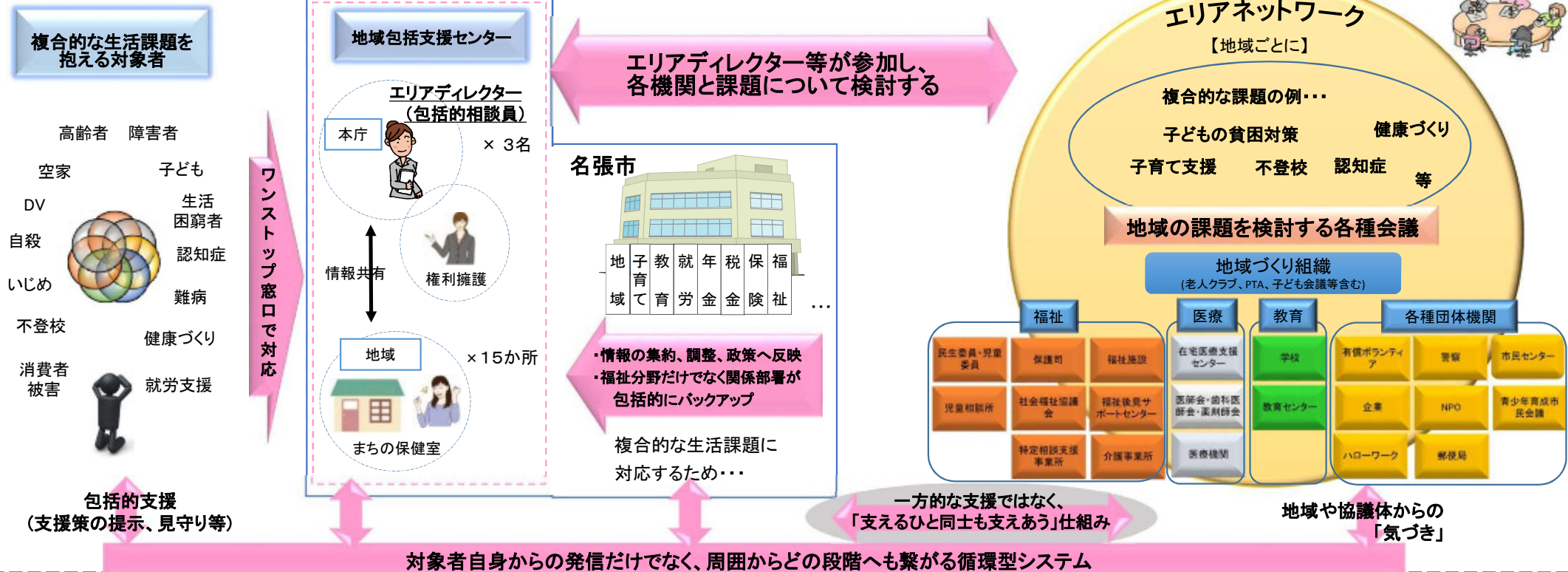
福祉の理想郷プランの集大成

名張市地域福祉教育総合支援システムの構築 (多機関協働による福祉や子育て、教育等の包括的支援体制) ～地域まるごと福祉・教育構想～

資料1

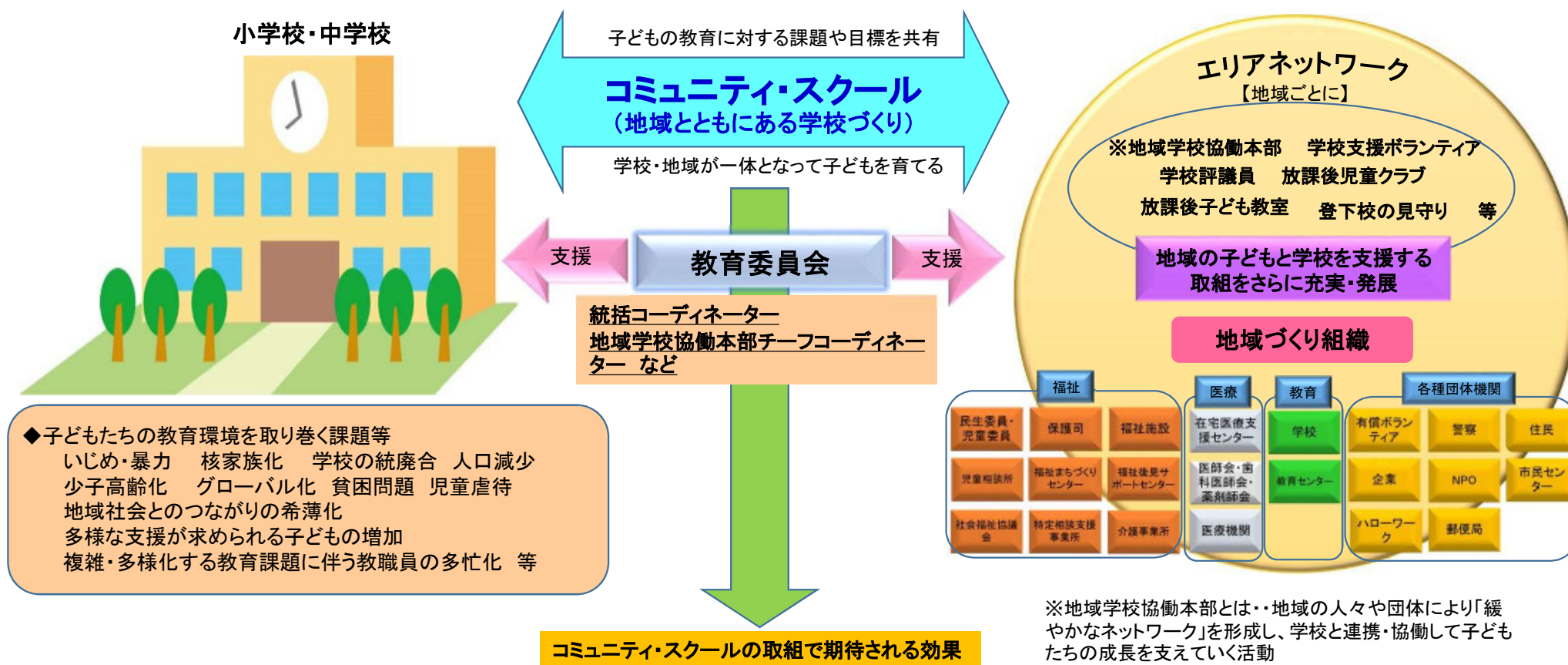
- ①名張市の庁内体制を整備し、行政の縦割りを解消。福祉子ども部内において包括的な相談・支援を行える態勢を整備し、現場からの情報集約や庁内での調整、政策としての反映を行う。
- ②複合的な生活課題を抱える対象者に対しワンストップ窓口で対応するため、「エリアディレクター（包括的相談員）（仮称）※」を配置し、地域包括支援センターの機能を強化。
※ 社会福祉士等の嘱託職員を予定。
- ③地域の課題を検討する各種会議（エリア会議）にエリアディレクターが積極的に関与し、エリアネットワークの強化を促進する。関係機関との協働・連携・調整・相談・ニーズの把握・情報提供等を支援することにより課題の解決策を検討する。

【“まちそのもの(全体) = 地域福祉教育総合支援システム”のまちづくり】



エリアネットワークを生かした地域総がかりによる教育の実現

～名張版コミュニティ・スクール～



子どもにとって	保護者にとって	地域の人々にとって	教職員にとって
子どもたちの学びや体験活動が充実する	学校や地域に対する理解が深まる	経験を生かすことで生きがいや自己有用感がある	地域の人々の理解と協力を得た学校運営
自己肯定感や他人を思いやる心が育つ	地域の中で育てられている安心感が生れる	学校が地域のつながり、地域のよりどころとなる	地域の人材を活用した教育活動が充実
地域の担い手としての自覚が高まる	地域の人々との人間関係が構築できる	学校を中心にした地域ネットワークができる	地域の協力で子どもと向き合う時間が増える

名張市のめざす 地域とともにある学校づくり



平成28年度第1回総合教育会議
平成28年9月1日（木）

名張市のめざす教育

＜第2次名張市教育振興基本計画：平成28年度から10年計画＞

夢をはぐくみ、心豊かで、元気な「ばりっ子」

夢を実現する力

発達を踏まえた、新たな教育の実現

子どもの学力・体力等の課題解決をはかり、変化の激しい時代を生き抜く力をつけるためには、発達を踏まえた、より一層きめ細やかで質の高い教育を実現する必要があります。

社会を拓く力

学校、家庭、地域の連携強化

未来を担う子どもを健やかに育むためには、学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、地域ぐるみで教育に取り組む体制づくりを推進する必要があります。

地域のつながりの強化

地域のセーフティネット機能を高め、これまで培われてきた地域の文化・規範を次世代に継承するためには地域のつながりを強化する必要があります。

就学前教育の充実

経済状況等による進学機会や学力の差が世代をまたがる格差の固定化につながらぬよう幼児期等において学習面・生活面における支援を適切に講じる必要があります。²

4つの新たな取組

資料：1

夢をはぐくみ、心豊かで、元気な「ばりっ子」

夢を実現する力

(1) 小中一貫教育の推進

小学校教育から中学校教育への円滑な接続をめざし、義務教育9年間を通じて子どもの発達に合った学びを実現するため、小中一貫教育の取組を推進します。

(3) 生涯学習センター機能の構築

活力あるコミュニティが市民の学習を支え、社会を生き抜く力をともに培い、市民の学習がコミュニティを形成・活性化させるという好循環システムの確立に向けて、地域の資源を結び、市民のネットワーク拠点となる(仮称)生涯学習センター機能を構築します。

社会を拓く力

(2) 名張版コミュニティ・スクールの創設

学校、家庭、地域がともに知恵を出し合い、地域づくり組織等と連携・協働しながら子どもの豊かな成長を支え、学校が、地域コミュニティの絆・生きがいの核となるよう、名張版コミュニティ・スクールを創設します。

(4) 教育センター機能の充実

学校、家庭、地域が一丸となって、子どもの育ちを支援するための拠点施設である教育センター機能をより充実させ、子どもの育ちと学びを一体的に支援します。

名張版コミュニティ・スクールのめざすもの

- 名張市が推進する**小中一貫教育**を地域・保護者と一体となって取り組む。
- 地方創生に向けて、**地域を担う人**を育てる。
- 子どもたちの**生きる力の育成**をキャリア教育を核として進める。

名張版コミュニティ・スクールの機能

学校運営

- 学校・保護者・地域による熟議
- 小中一貫教育の充実

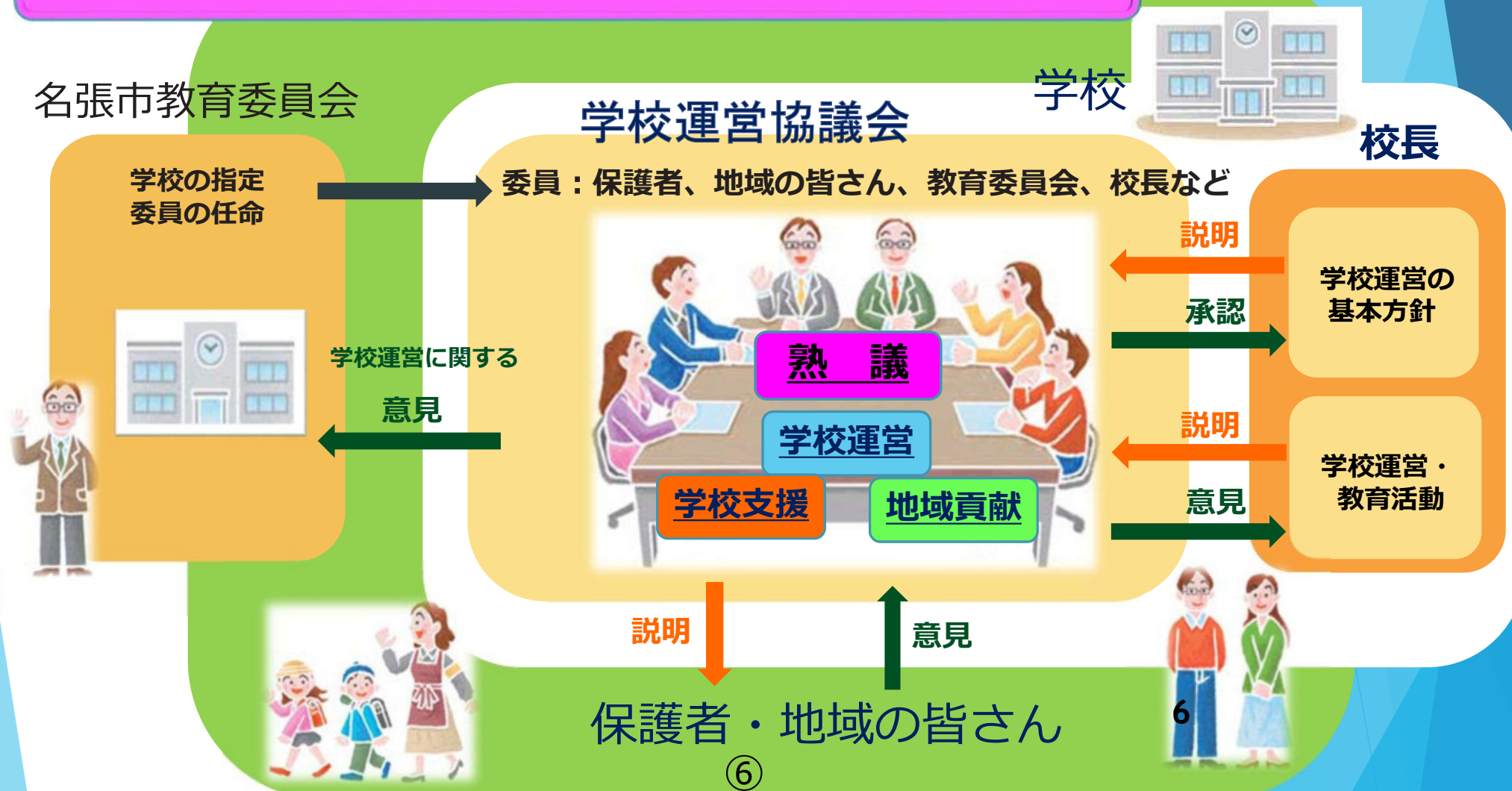
学校支援

- 生きる力の育成
- 教育の質の向上

地域貢献

- 地域の担い手の育成
- 学校を核とした地域の絆づくり

名張版コミュニティ・スクールのイメージ



名張版コミュニティ・スクールの組織

○名張市では、

1. 学校支援ボランティア組織（学校支援地域本部事業）
2. 学校評議員組織

など、学校と地域の信頼関係が既に築かれている場合が多いことから、こうした組織の理解、協力のもと、**「学校運営協議会」**へ発展して行けるよう、今後協議を進めていきます。

コミュニティ・スクール設置に係るスケジュール

平成28
年度

- ・ つつじが丘小学校・南中学校を研究推進校に指定
- ・ 名張版コミュニティ・スクール推進協議会
- ・ 教職員・地域住民・保護者への周知

平成29
年度

- ・ つつじが丘小学校・南中学校をコミュニティ・スクールとして設置
- ・ 市内小中学校への導入のための体制整備

平成30
年度
以降

- ・ 市内小中学校をコミュニティ・スクールとして順次設置